平成 24 年度
私費外国人留学生募集要項

横浜国立大学理工学部

平成 23 年 11 月

目　次

横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）········　1
1．募集人員 ··· 5
2．出願資格 ··· 5
3．出願手続 ··· 6
4．出願にあたっての注意事項 ······························ 8
5．入学検定料··· 8
6．障害等のある入学志願者の事前相談について ··············· 9
7．入学者選抜方法 ··· 10
8．試験日程 ··· 10
9．入学手続 ··· 11
10．個人情報の取り扱いについて ···························· 11
キャンパス案内図 ·· 12
交通案内図 ···13

添付書類

この要項には、下記の本学所定の書類等が添付されています。

1．志願票
2．受験票・写真票
3．「振替払込受付証明書（お客さま用）」貼付用紙
4．入学検定料払込取扱票（検定料 17,000 円）
5．返信用封筒（速達用長形 3 号）
6．住所・氏名記入用紙（シール）

●横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

――横浜国立大学では、社会に貢献できる意欲的な学生を求めます――

■真の実力を得たい！

社会においてリーダー的存在になる真の実力を得たい人

■洞察力を磨きたい！

科学的探求心を尊重し、チャレンジ精神に基づく研究・創造の場を通して、深い知識と洞察力を獲得したい人

■世界の舞台で活躍したい！

国際性溢れる環境の中で、外国人学生と共にコミュニケーション能力を高め、世界に発信・飛躍したい人

■高度な専門知識で社会に貢献したい！

大学院に進学し、さらに高度な専門的知識を身につけ、専門的な職種や職業で社会に貢献したい人

自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語らいつつ、
柔軟な発想と総合的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、
社会の中核となってグローバルな共生社会に貢献したいと思う人を求めています。

【横浜国立大学学士課程の教育目標】

横浜国立大学の４つの精神－実践性・先進性・開放性・国際性－を踏まえて、本学は大学全体としての学士教育の更なる充実に向けた教育目標を定め、学内の各組織はそれぞれが担うべき学士課程の教育目標および育成人材像を明確にして、体系的な教育を実施します。

（１） 学芸・諸科学に関する豊かな知的資産を学び、それらを活かす高度な実践的能力を備え、社会の中核となって活躍できる人材を育成する。

（２） 研究成果に基づく教育を通して、豊かな知性・感性を養うとともに諸課題を解決に導く思考力や判断力を磨く。

（３） 社会・文化・自然の多様性を尊重しつつ国や社会を超えて多様な人々と交流し、共生社会の実現を図る高いコミュニケーション能力を養う。

（４） 高い倫理観を養いつつ積極的に課題を探求し、解決する強い意欲や責任感を高める。

※本学の詳細な教育目標・方針については、本学 WEB サイトに掲載の『「学士力」を磨く　YNU initiative』をご覧ください。

●理工学部の入学者受入方針

理工学部では、理工学の学びを通して実践的「知」を身につけたい意欲的な学生を求めます。

- ■ 自然科学の真理探究や独創的なもの作りを通して、自ら成長・発展しようとする人
- ■ 何ごとにも旺盛な好奇心を持ち、失敗をおそれない、チャレンジ精神にあふれている人
- ■ 新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的な視野を磨こうとする人
- ■ 胸がときめくようなアイデアを確かな知識と技術で実現しようとする人
- ■ 我が国が世界から信頼される存在となるよう、自分の仕事を通じて貢献したいと願う人

【理工学部の教育目標】

地球規模の環境問題など社会の要請を把握し、自然科学の真理を追究し、産業を発展させ、輝ける未来を切り開くために研究者・技術者の果たすべき役割はより大きくなっています。実践的学術の国際拠点を目指す本学・理工学部では、自らの専門分野における専門能力と高い倫理性を持ち、広く科学技術に目を向ける進取の精神に富む人材育成を目的とします。

●学科及び教育プログラムの入学者受入方針

◎機械工学・材料系学科の入学者受入方針

機械工学または材料工学に興味を持ち、それらを用いて環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人を求めます。自由と責任を有する大人としての自律性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力とを持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人を求めます。

＜機械工学教育プログラム＞

・ハイテクノロジー時代を代表する自動車、流体機械、ロボットなどの各種機械に強い関心を持つ人

・機械工学の研究、機械や機械システムの開発・設計・生産等の分野で活躍したいと希望する人

＜材料工学教育プログラム＞

・物理や化学に基づいた、材料の様々な性質を生み出す仕組みの解明に興味のある人

・材料工学に強い関心を持ち、新材料や新規機器の開発分野で活躍したいと希望する人

◎化学・生命系学科の入学者受入方針

自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな 21 世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めます。

向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人を求めます。

＜化学教育プログラム＞

・化学の基本知識を中心に据え、あらゆる自然科学の知識を活用して物質の世界の真理を原子や分子レベルから探求する科学研究者、および最先端化学とその利用に関わる科学技術者を目指す人

＜化学応用教育プログラム＞

・化学の基本知識を応用し、物理を活用して、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる技術者・研究者を目指す人

＜バイオ教育プログラム＞

・生物学、化学、物理学に立脚した現代生物学の方法を通して生命を理解し、その成果を食料問題や生命・医療などのグローバルセキュリティ課題の解決に応用できる技術者・研究者を目指す人

◎建築都市・環境系学科の入学者受入方針

建築都市・環境系学科は、建築から、都市、地域生態系、海洋、地球、宇宙へと広がる人々が暮らし活動する空間とその環境に興味を抱き、創造性、自発性、探究心、行動力にあふれた人を求めます。

＜建築教育プログラム＞

・建築の思想や芸術から工学まで、建築に関して幅広く学び、未だに存在しない空間や建築を都市の中に構想できるような建築家になりたい人

・自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人

・自然と調和した住空間のデザインを身につけ、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人

・都市の歴史的変遷や成り立ちを知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを実践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人

＜都市基盤教育プログラム＞

・自然環境との調和や共生など地球的観点にたってより良い都市や国土の創造に興味がある人

・シビルエンジニアとして、社会基盤の整備、維持管理、運用を通して、都市や社会生活を豊かにしたい人

・発展途上国の社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

＜海洋空間のシステムデザイン教育プログラム＞

・世界中を駆けめぐる、環境と調和した新たな船舶・航空機や、海洋構造物の設計エンジニアになりたい人

・海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする船や航空機、人工衛星の運航を通して人や物資の流れを作り、世界を一つにすることを目指したい人

＜地球生態学教育プログラム＞

身近な自然や、生物多様性、地球温暖化などに興味を持っていて、以下のような進路をめざす人を求めます。

・科学者や技術者、社会のリーダーとして地域の自然環境問題の科学的な解決を目指そうとする人

・研究者として環境科学や関連する自然科学を発展させたり、高等学校理科教員として自然についての知識を次世代に伝えたいと考えている人

◎数物・電子情報系学科の入学者受入方針

数学、物理の基本原理を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があって、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人を求めます。また、数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人を求めます。

＜数理科学教育プログラム＞

・現代の数学である数理科学を縦横に活用して社会に有為な人材になりたい人、また、将来、その発展に貢献することで国際的な活躍をしたい人

・数学と物理、コンピュータの活用に興味があり、コンピュータグラフィックス、コンピュータシミュレーション、画像処理、数理モデリングなどを用い、世の中の複雑な現象・問題を理解・解決したい人

＜物理工学教育プログラム＞

・宇宙、素粒子、様々な物質系などの性質を物理学の手法を用いて探求することに関心のある人

・物理学を深く理解したうえで、工学の幅広い分野で常に原理に立ち返って新しい科学技術を生み出したい人

＜電子情報システム教育プログラム＞

・電気、電子、通信、情報工学などに興味があり、これらの分野の研究者・技術者として、社会で役立つ実践力を身につけたい人

・高度情報化社会を支える新しい先端的技術を創り出すことを目指す人

＜情報工学教育プログラム＞

・情報学・情報工学の基礎から応用までを身につけ、自ら先端的な情報理論・処理方式・システムを創造して社会に貢献する強い意欲をもった人

・人の優れた知能や能力をコンピュータ・機械で実現し、人を支援することで、人を中心とした豊かで安全・安心な未来社会を実現したいと考えている人

平成 24 年度横浜国立大学理工学部
私費外国人留学生募集要項

１． 募集人員

学科	教育プログラム	募集人員
機械工学・材料系学科	機械工学教育プログラム	若干名
	材料工学教育プログラム	
化学・生命系学科	化学教育プログラム及び化学応用教育プログラム	
	バイオ教育プログラム	
建築都市・環境系学科	建築教育プログラム	
	都市基盤教育プログラム	
	海洋空間のシステムデザイン教育プログラム	
	地球生態学教育プログラム	
数物・電子情報系学科	数理科学教育プログラム	
	物理工学教育プログラム	
	電子情報システム教育プログラム	
	情報工学教育プログラム	

（注1） 出願できるのは１つの学科・教育プログラムのみです。

（注2） 化学・生命系学科化学教育プログラム及び化学応用教育プログラムでは、第 2 学年進級時に本人の希望と科目履修状況等に基づき「化学教育プログラム」又は「化学応用教育プログラム」に所属します。

２． 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者

【基礎資格】

次のいずれかに該当する者

（1） 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 24 年（2012 年）3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの

（2） 文部科学大臣の指定した者（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ）、バカロレア資格（フランス）のいずれかを有する者で平成 24 年（2012 年）3 月 31 日までに 18 歳に達するもの）

【要件】

次の(1)から(3)のすべてに該当する者

（1） 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者

（2） 平成 23 年（2011 年）6 月（※）又は 11 月実施の日本留学試験を受験し、かつ各学科で指定する次の要件（別表）を満たしている者

（3） 平成 22 年(2010 年) 1 月以降に実施された TOEFL 又は TOEIC を受験した者

（※）6 月実施の試験には、7 月 2 日（土）に実施された「平成 23 年度日本留学試験（第 1 回）特別追試験」を受験した者を含みます。

別表＜日本留学試験等の受験を要する科目等＞　◎→必修　○→選択

受験を要する教科・科目等 ＼ 学科名	日本留学試験											英語科目への対応
	出題言語の指定		日本語	理科			総合科目	数学			選択	
	英語	日本語		物理	化学	生物		コース1	コース2	どちらでも可		
機械工学・材料系学科		◎	◎	◎	◎				◎			平成22年（2010年）1月以降に実施されたTOEFLまたはTOEICを受験した者
化学・生命系学科		◎	◎	○	◎	○			◎		物理、生物から1科目	
建築都市・環境系学科		◎	◎	◎	○	○			◎		化学、生物から1科目	
数物・電子情報系学科		◎	◎	◎	◎				◎			

（注1）　日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この要項の選抜には該当しないので注意して下さい。ただし、【基礎資格】（2）に該当する者は出願できます。

（注2）　在留資格「留学」を取得するにあたっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

（注3）　TOEFL、TOEICの成績証明書は出願書類と同時に提出しなければなりません。なお、TOEFL、TOEICの成績証明書は受験してから交付までに相当期間を要するので、出願期間に留意のうえ、早めに準備して下さい。

（注4）　日本留学試験の成績通知書は、平成23年（2011年）6月又は11月実施分のいずれか一方の成績通知書を提出して下さい。なお、6月実施分については、7月に実施された「特別追試験」を含みます。

（注5）　日本留学試験については、下記へお問い合わせ下さい。
独立行政法人 日本学生支援機構（〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29　TEL03-6407-7457）

３．出願手続

（1）　出願受付期間

平成24年1月16日（月）～1月20日（金）（最終日15：00締切）

受付時間：9：00～12：45、13：45～17：00**（ただし、1月20日（金）は15：00まで）**

（＊受付期間終了後は一切受理しませんので早めに提出して下さい。）

（2）　出願方法

出願書類の受付は、窓口受付に限ります。必要書類を取り揃え、志願者本人が、理工学系大学院等入試係に直接出願書類を持参して出願期間内に提出して下さい。（＊郵送及び代理人による出願は一切受理しません。）

出願書類等

① 志願票	本学所定の用紙に必要事項を日本語で記入して下さい。 母国の住所・学歴・職歴は英語で記入しても構いません。
② 受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入して、出願日前 3 か月以内に撮影した上半身脱帽・正面向きで同一の写真（縦 4 ㎝×横 3 ㎝）を受験票・写真票の所定欄に貼付して下さい。 なお、裏面に氏名を記入しておいてください。
③ 卒業（修了）証明書	・高等学校（日本の高等学校に相当する課程をいう。）の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書を提出して下さい。（コピー不可） ・出願資格の【基礎資格】(2) により出願するものは、国際バカロレア等の資格証明書を提出して下さい。（コピー不可）
④ 成績証明書	・高等学校（日本の高等学校に相当する課程をいう。）の成績証明書を提出して下さい。（コピー不可） ・出願資格の【基礎資格】(2) により出願するものは、国際バカロレア等の成績証明書を提出して下さい。（コピー不可）
⑤ 日本留学試験成績通知書	平成 23 年（2011 年）6 月又は 11 月実施の日本留学試験の成績通知書**本紙**（コピー不可）を出願時に持参して下さい。
⑥ 日本留学試験受験票	平成 23 年（2011 年）6 月又は 11 月実施の日本留学試験の受験票**本紙**（コピー不可）を出願時に持参して下さい。
⑦ TOEFL、TOEIC の成績証明書	平成 22 年（2010 年）1 月以降に受験した試験の成績通知書**本紙**（コピー不可）を出願時に持参して下さい。
⑧ 入学検定料	払込金額　17,000 円 払込方法等の詳細については、8 ページ「5.入学検定料」を参照して下さい。
⑨ 受験許可書	現在日本の大学に在籍している者は、在籍している大学長の受験許可書を提出して下さい。
⑩ 登録原票記載事項証明書又はパスポート	現在日本国に在住している者は、市区町村の発行する「登録原票記載事項証明書」を提出して下さい。 外国から出願する者は、パスポート（コピー不可）を出願時に持参して下さい。
⑪ 返信用封筒	本学所定の返信用封筒に 360 円切手を貼付し、住所・氏名を明記して下さい。（住所は日本国内に限ります。）
⑫ 住所・氏名記入用紙	合格通知及び入学手続書類等の送付に使用しますので、正確に記入して下さい。（住所は日本国内に限ります。）

※1 英文以外の証明書は、自国の公的機関で証明した日本語訳又は英語訳を添付して下さい。
※2 上記⑤⑥⑦⑩については、出願受付の際にコピーして返却します。
※3 ⑦における成績証明書とは、TOEICは「Official Score Certificate」、TOEFLは「Examinee Score Report」のことを指します。韓国TOEICのホームページでダウンロードし各自で印刷した成績表は受け付けません。
※4 ⑤⑥における日本留学試験６月実施分については、7 月に実施された「特別追試験」を含みます。

出願書類を受理した者に対して、２月中旬頃「受験票」を郵送します。
試験日の１週間前までに到着しない場合は、理工学系大学院等入試係までお問い合わせ下さい。

４． 出願にあたっての注意事項

(1) 志願票及び受験票・写真票の該当事項は〇で囲み、※印の箇所は記入しないで下さい。
(2) 複数の学科・教育プログラムを志望することはできません。
(3) 志願票には、日本留学試験の受験番号を必ず記入して下さい。
(4) 「日本の住所」の欄には、大学からの通知が確実に届く宛先（日本国内に限る）を明記するとともに、郵便番号を〒の箇所に正確に記入して下さい。なお、電話番号が呼出しの場合は「呼出」と明記して下さい。また、出願後、「日本の住所」及び「電話番号」を変更した場合は、受験番号及び氏名を明記して、その旨を理工学系大学院等入試係に届け出て下さい。
(5) 出願後の書類内容の変更は認めません。出願にあたっては、提出書類に記入漏れや誤りがないか十分注意して下さい。
(6) **出願書類等に不備がある場合は受理しません。**なお、提出された出願書類等は一切返却しません。
(7) 出願書類は、必ず**原本**を提出して下さい。コピーの場合は書類不備として扱います。
(8) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した際、入学許可を取り消すことがあります。

５． 入学検定料

(1) 入学検定料の払込について
① 払込金額　17,000 円
② 払込期間　出願期間に間に合うように払込んで下さい。
③ 払込場所　郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口（ATM は使用不可）
④ 払込方法
ア．本要項に同封の「払込取扱票」を使用し、各票のご依頼人は、志願者本人の氏名を記入して下さい。（志願票の氏名と照合します。）
イ．「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（お客さま用）」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には、必ず受付局の日附印を確認して下さい。
ウ．払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担となります。

(2) 入学検定料の返還について
払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
① 入学検定料の返還請求ができるもの
ア．入学検定料を払い込んだが横浜国立大学理工学部私費外国人留学生試験に出願しなかった場合
イ．入学検定料を誤って二重に払込んだ場合
ウ．出願書類等の不備により出願が受理されなかった場合
② 返還する入学検定料の金額
志願者の申し出により、17,000 円を返還します。
③ 返還請求の方法
上記(2)①のア、イに該当するものは、以下（※1）a～d の 4 項目を明記した入学検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず「振替払込受付証明書（お客さま用）」を添付して、横浜国立大学理工学系大学院等入試係（※2）へ速やかに郵送して下さい。また、ウの場合は、出願書類返却時に様式をお渡ししますので、必要事項を記入のうえ提出して下さい。
※1 入学検定料返還請求願（様式は問わない）に記載する項目
a.返還請求の理由　b.氏名（ふりがな）c.現住所　d.連絡先電話番号
※2 送付先
〒240-8501　横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5
横浜国立大学理工学系大学院等入試係

６． 障害等のある入学志願者の事前相談について

(1) 障害〔下表参照〕等のある入学志願者で、受験上あるいは修学上特別な配慮を必要とする者は、出願する前に相談して下さい。相談の結果は決定次第、本人に連絡します。また、下表から判断できない場合については、理工学系大学院等入試係までお尋ね下さい。

(2) 出願受付終了後に、不慮の事故等のため、受験上あるいは修学上特別な配慮が必要な場合は、速やかに本人または代理人が医師の「診断書」等を添えて申請して下さい。

区　　分	障　害　の　程　度
視覚障害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	一　肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二　肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病　　弱	一　慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二　身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(3) 申請は、下表の様式例を参考に申請書を作成し、診断書又は身体障害者手帳(写)、その他参考資料を添えて申請して下さい。なお、申請内容によっては対応に時間を要する場合もありますので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。

（様式例）A4 判縦

平成　　年　　月　　日

横浜国立大学長　殿

氏　　名（ふりがな）
生年月日
住　　所〒
電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学部・学科・教育プログラム
2. 障害等の種類、程度
3. 受験に際して希望する受験特別措置
4. 入学後の修学に際して希望する特別措置
5. その他

（添付書類）診断書または身体障害者手帳（写）、その他参考資料

７． 入学者選抜方法

本学が実施する個別学力検査、面接、日本留学試験成績、TOEFL 又は TOEIC の成績及び高等学校等の成績を総合して、選抜を行います。

８． 試験日程

(1) 個別学力検査等教科及び実施日

実施日等 ＼ 学科名	2 月 25 日（土）		2 月 26 日（日）
	教　　科	時　　間	教　　科
機械工学･材料系学科	数　　学	9：30～12：00	面　　接
化学・生命系学科	数学・理科		
建築都市･環境系学科	数　　学		
数物･電子情報系学科	数　　学		

（注1）必ず個別学力検査と面接試験の両方を受験して下さい。

（注2）化学・生命系学科の個別学力検査においては、「数学」と「理科」を課しますが、両教科の配点比率は、数学「２５０点」理科「４５０点」とします。

（注3）個別学力検査は、一般入試の前期日程と同一の問題を出題します。
個別学力検査の教科・科目は以下のとおりです。

学科	受験を要する教科・科目
機械工学・材料系学科	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ・数Ｃ）
化学・生命系学科	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ・数Ｃ） 理科（物Ⅰ・物Ⅱ・化Ⅰ・化Ⅱ）
建築都市・環境系学科	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ・数Ｃ）
数物・電子情報系学科	

（注4）個別学力検査の教科・科目は次のように略して表記しています。
数学Ⅰ→数Ⅰ、数学Ⅱ→数Ⅱ、数学Ⅲ→数Ⅲ、数学Ａ→数Ａ、数学Ｂ→数Ｂ、
数学Ｃ→数Ｃ、物理Ⅰ→物Ⅰ、物理Ⅱ→物Ⅱ、化学Ⅰ→化Ⅰ、化学Ⅱ→化Ⅱ

（注5）数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ａの出題範囲：全項目
数Ｂの出題項目：「数列」及び「ベクトル」
数Ｃの出題項目：「行列とその応用」、「式と曲線」

（注6）物Ⅱの出題項目：「力と運動」、「電気と磁気」、「課題研究」及び「物質と原子（ア.原子、分子の運動）」
化Ⅱの出題項目：「生活と物質」及び「生命と物質」のいずれか一方を学習しなかった受験生に対して不利が生じないように配慮します。

(2) 個別学力検査等試験場
横浜国立大学理工学部（横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5）
※集合時間及び集合場所の詳細は、受験票送付の際に通知します。

(3) 合格発表
平成 24 年 3 月 7 日（水）13 時頃
本学ホームページ（http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html）に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続書類等を郵送します。
※ ホームページでの掲載期間は、合格発表日から概ね 4 日間程度とします。
※ 携帯電話には対応していません。
※ 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

９． 入学手続

合格通知を受けた者は、窓口受付により下記の期間内に入学手続を行って下さい。

(1) 入学手続期間

平成 24 年 3 月 14 日（水）～平成 24 年 3 月 16 日（金）（予定）

※ 合格者には、合格通知書とともに入学手続書類等を送付します。入学手続の詳細は、同封の「入学手続について」で確認して下さい。

【入学手続時に必要な費用】

入学料 282,000 円〔現行〕

【入学後に必要な費用】

授業料 春学期分 267,900 円〔現行〕

（年額） 535,800 円〔現行〕

注1．入学料及び授業料は、改定される場合があります。

注2．在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

注3．詳細は入学手続書類と一緒に送付します。

(2) 入学手続に関する留意事項

① 合格者が、期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取扱い、これ以降の入学手続きを認めません。

② 上記（1）で入学手続を完了した者が、特別な理由により入学を辞退する場合は、「入学辞退願」（任意様式）を平成 24 年 3 月 31 日までに横浜国立大学学長に提出し、その許可を得た場合に限り認められます。（平成 24 年 4 月 1 日以降に「入学辞退願」を提出しても入学辞退は認められません。）

10． 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

(1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付）、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究にも利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

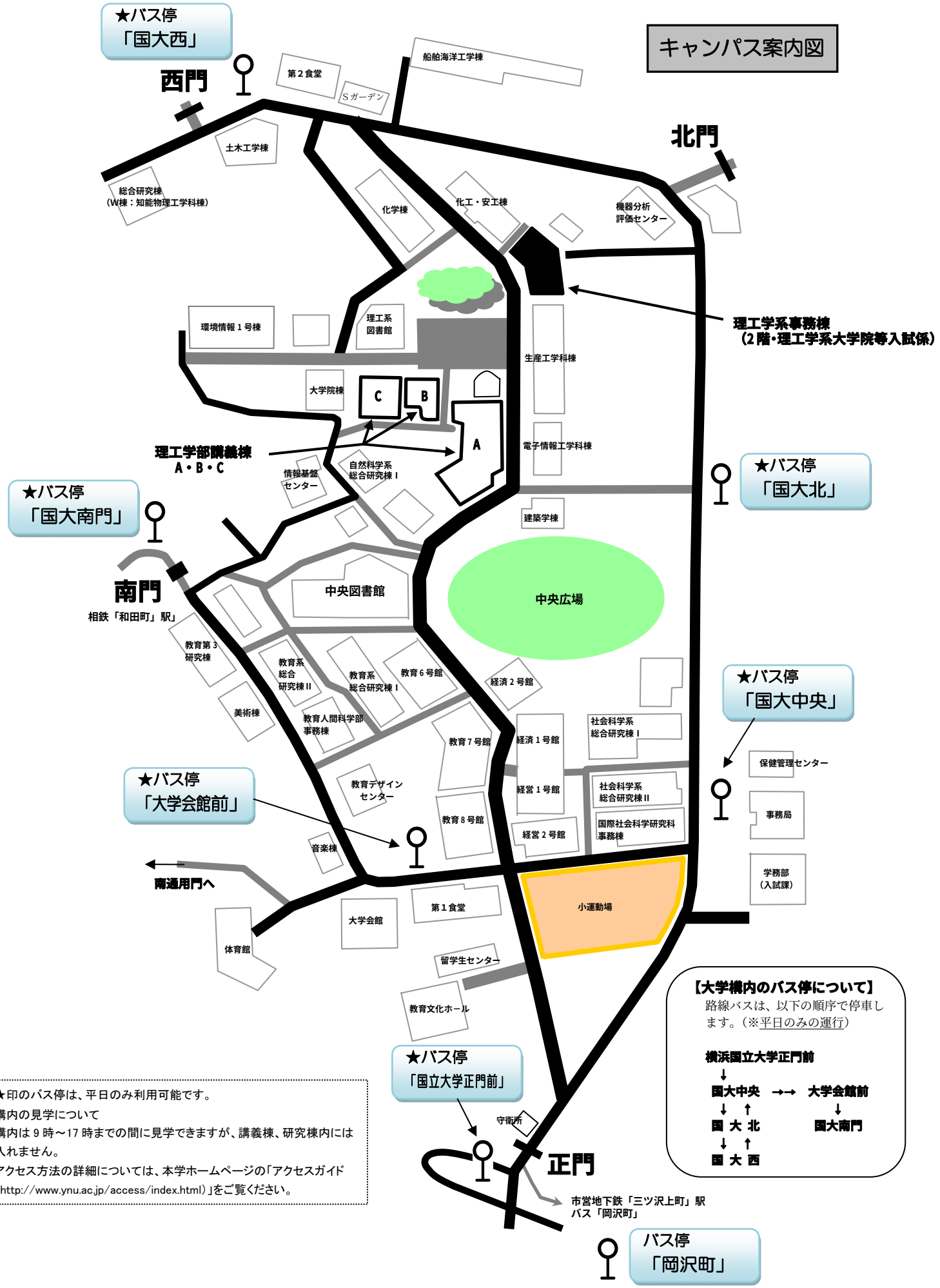
(2) 上記（1）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。

受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

注意！！

試験日や下見時に、本学周辺（特に岡沢町バス停から正門までの間にある通路・階段など）や最寄り駅（和田町、三ツ沢上町、横浜）で、本学職員を装って受験生を誘導・整理し、受験番号・住所・氏名・電話番号を記入させた後に「現金」を請求する者がいますが、これらの者と本学とは一切関係がありませんので、充分に注意してください。

キャンパス案内図



【大学構内のバス停について】

路線バスは、以下の順序で停車します。（※平日のみの運行）

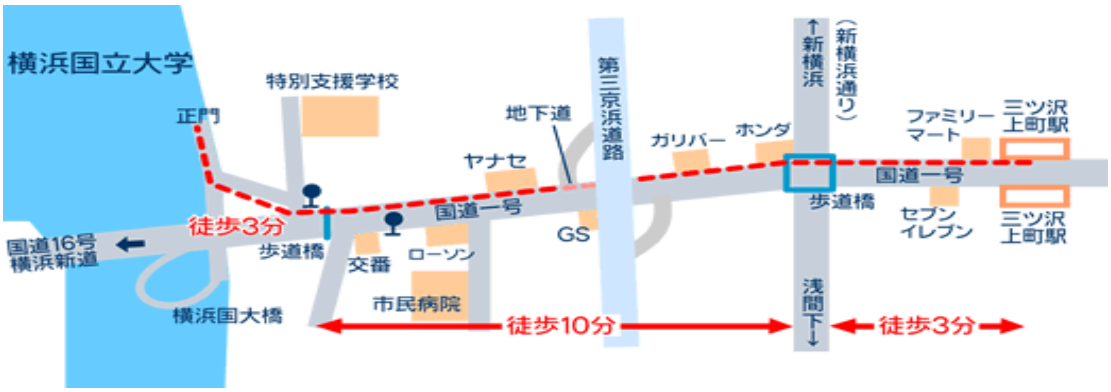
横浜国立大学正門前
↓
国大中央 →→ 大学会館前
↓ ↑ ↓
国 大 北 国大南門
↓ ↑
国 大 西

※★印のバス停は、平日のみ利用可能です。
※構内の見学について
構内は９時～17時までの間に見学できますが、講義棟、研究棟内には入れません。
※アクセス方法の詳細については、本学ホームページの「アクセスガイド（http://www.ynu.ac.jp/access/index.html）」をご覧ください。

交　通　案　内　図

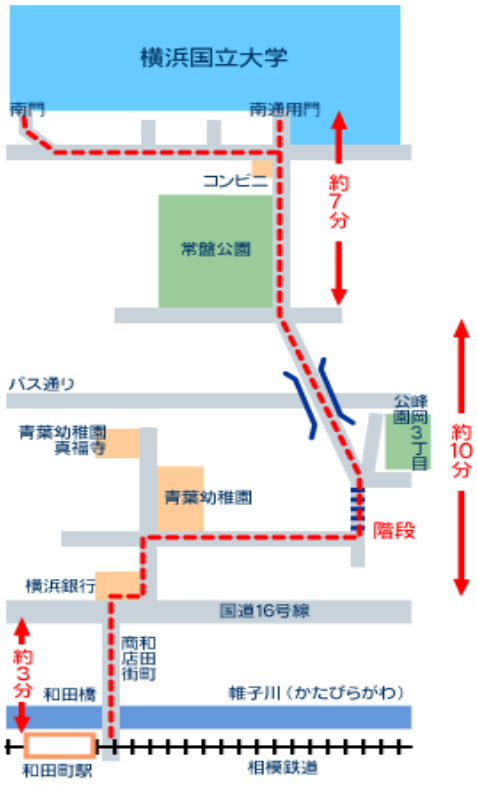
①横浜市営地下鉄線

【三ツ沢上町駅】（改札を出て右側 2 番出口）⟶　正門へ



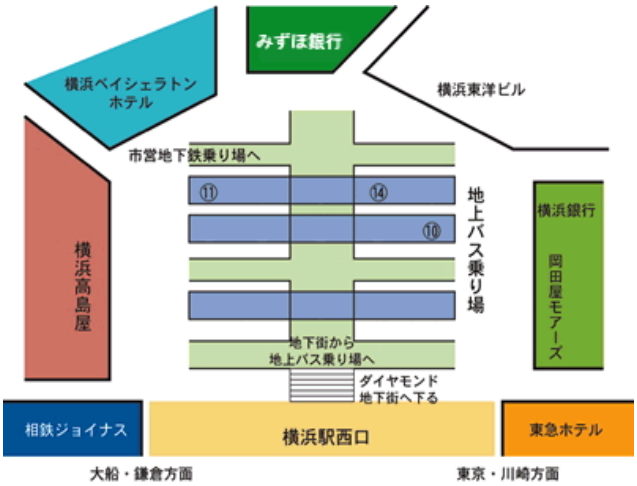
②：相模鉄道線

【和田町駅】　⟶　南門、南通用門へ



③：バス

【横浜駅西口】　⟶　正門、大学構内バス停留所（平日のみ）



	【下車停留所】
横浜市営バス	
⑪番乗口　循環外回り 202 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
⑭番乗口　【急行】329 系統「横浜駅西口行」 ⑭番乗口　循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」 **相鉄バス** ⑩番乗口　浜 10 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」 又は 「国大北」(平日のみ) 「国大西」(平日のみ)
⑩番乗口　浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」 **神奈中バス** ⑭番乗口　01 系統「中山駅行」	「岡沢町」

※「国大北」・「国大西」は、大学構内のバス停留所です。（平日のみ利用可能）

注１　各バスの時刻等は、横浜市交通局、相鉄または神奈中のホームページ等により各自で確認して下さい。

注２　横浜市営バス「201 系統・329 系統」及び相鉄バス「浜 10 系統」は、平日のみ大学構内への乗り入れを行います。

注３　上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜休日は運行しない路線もありますので注意してください。

注４　バスは、交通渋滞により遅れる可能性があるので、試験当日は①又は②による徒歩をお勧めします。

＜お問い合わせ先＞
横浜国立大学理工学系大学院等入試係
〒240-8501　横浜市保土ケ谷区常盤台 79-5
〔窓口取扱時間〕8:30～12:45, 13:45～17:00（平日）
※土日・祝日及び年末年始（12/29～1/3）は休業です。
TEL　：045-339-3821,3822
FAX　：045-339-3820
E-mail：ses.nyushi@ynu.ac.jp
（注）電話でのお問い合わせの際は、上記窓口取扱時間内に
原則として志願者本人が問い合わせてください。